



今年度のESDの重点目標 学校教育全体にESDの視点を盛り込み、持続可能な取組の在り方を考える

【令和3年度 ESD 実践報告】

01 総合的な学習の時間における探求学習



今年度の3年生の総合的な学習の時間の柱として取り組みました。

SDGsの視点から、身の回りにある社会の諸課題を見出し、解決するための方法を考えました。また、学習を通じて、本校の学校教育テーマである「生きる…幸せを求めて」の「幸せ」とは何かを改めて考え直しました。ここでいう「幸せ」とは「well-being」を指しており、「持続的な幸せ」であるため、誰一人取り残すことなく、みんなが幸せになるにはどうしたらよいかを考えました。

02 「新聞無償配布の日」の取組



「新聞無償配布の日」に合わせて、「SDGsを通して新聞を読もう」という活動を行いました。各自の興味や関心に応じて選んだ記事を読み、SDGsとの関連性を意識しながら読み、分からないことを調べながら、記事中の出来事について自分の考えを持ちました。また、お互いのワークシートを見合うことで、生徒は様々な出来事、考え方と出会うことができました。

03 教職員研修



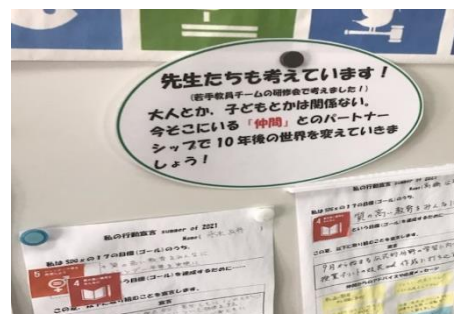
若年教員を主体とした「校内初若年研修」において、研修生が「私の行動宣言」と称して、6月の研修で夏季休業中のSDGsを意識した取組を考え、9月の研修で各自の取組を振り返りました。また、その様子を校内の掲示板を用いて発信したことで、大人も子どもも関係なく、全校でSDGsについて考えていこうというメッセージを生徒に伝えることができました。



01 の学習でゲストティーチャーの授業を受ける様子



02 の取組で生徒が新聞を読む様子



03 の研修で研修生の取組を発信した掲示板